

内田博文氏収集文書目録

凡例

- 1 文書番号 受入順に排列したもので、これを閲覧請求番号とする。
- 2 表 題 原表題があるものはそのまま採用し、ないものは内容に即して〔 〕で表記した。原表題だけで判りづらいものには適宜（ ）で内容を補足した。
- 3 年 代 文書に表記されたものを作成年代として採用した。比定可能なものは（ ）で補足した。なお、文書記載年代が長期にわたるものについては、～で記載期間を示した。
- 4 作 成 文書作成者を表記したが、収受者が判る場合は→で示した。なお、欠損した文字は■、判読不能なものは□で示した。
- 5 形 態 文書の形態を表記した。
- 6 数 量 文書の点数を表記した。

解題

【出所】

内田博文氏

【点数】

49点

【年代】

近世中期～昭和期

【構成】

ここに収められている文書は、内田博文氏が全国各地の古書店より収集した古文書・行政文書で、2022年8月6日～2025年2月5日にかけて受け入れたものである。近世村方文書（福山領・幕領）、藩主書状、藩校誠之館に関わる和本などとともに、神社行政に関わる近代公文書もみえる。

なお、福山市域と直接関わらないが、藩主阿部家が幕閣として関わった文書も若干含まれている。

【伝来】

収集文書のため組織文書としての構造を呈していないので、個別文書の来歴を把握するために、参考となる特徴のみ摘記しておく。

11号文書には赤ペンの書き込みがあり、おそらく郷土史家など収集家から流出したものと思われ、16号文書には文書整理番号の朱筆があるので、田島村役場へ引き継がれたものの、その後廃棄されて流出したのであろう。

24号～28号文書は幕末・維新期の山野村の御用留であるが、「山野村役場文書」（広島県重要文化財、広島県立文書館寄託）の中に多くの近世文書が残存しているものの御用留は見当たらない。一般的には庄屋が御用留を作成するが、当該期の御用留は組頭が作成しており、それが家文書として保管され続け、役場文書に引き継がれることなく流出したものと思われる。福山市内の個人収集文書に山野村庄屋文書（土地・山論関係）が確認されているが、そこにも御用留類は皆無である。庄屋文書（一時期庄屋2人体制）と組頭文書の両系統（一時期3系統か）の文書群が想定でき、「山野村役場文書」における近世文書の伝来の検討素材にもなるであろう。

44号文書は書き損じにより流出した廃棄文書と考えられる。太政官印と料紙が同一の正本が「東京阿部家資料」に伝来しており、同一作成文書である。反故文書と正文が当室で出会い所蔵されることになった。

欠本がある43号文書は、藩校誠之館所蔵の新刻版（江木鰐水ほか3名校訂）で、完結本が福山誠之館同窓会に伝来している。早稲田大学などに同系統本が所蔵されていることを付け加えておく。45号文書も誠之館に関係するもので、一部文字が抹消されており、これが定稿かどうか判断に迷う。後年の複製品が同会に所蔵されているが、これとも若干異なる。また「江木文庫」には、複数の草稿とともに定稿と称する推敲原稿もあり、いずれも表題が「誠之館記」となっていて異なる。これら異同も含めて出所を検討する必要があるだろう。その江木鰐水であるが、46号文書は彼に深く関わる人物たちが登場する。佐沢（新七郎）家に伝来したものであろうか。鰐水事績碑文案の貼紙によれば、東京の「鰐水江木先生墓」碑文（東京大学教授三島毅撰述、明治16年）と同一地内に鰐水事績碑文を建立する計画があったようである。井原の興讓館教授坂田丈平撰述の福山城跡の「鰐水江木先生碑」（興讓館教授坂田丈平撰述、明治27年）の後に作成したものであると思われる。

【その他】

年紀のない文書については年代比定をしておいた。藩主から国元へ宛てた書状がみえ、21号・22号文書については内容や宛所藩士の経歴、14号文書は幕令を参考に作成年代を推定した。

17号文書は松平家統治時代のものとして貴重で、村明細帳と同等の機能を持つ絵図である。現在のところ福山市域では、ほかに「草深村下絵図」と称されるものが1点確認できるのみである。

福山市域と関連はないものの、幕閣阿部家に多少とも関わる文書も寄贈されている。38号文書は関八州に回達された老中発給の口達・触書である。39号文書は、信州幕領において惹起した村方騒動に関する老中宛の訴状である。40号文書は、老中名の口達を含む海防建議書などを集成した写本であるが、「国書総目録」において確認できないものであり、出所の検討を要する。42号文書は、福山藩知事も含め新政権へ輪番参集する藩名簿で、その正誤を確認するための回状である。国立公文書館において書式を異にする正式文書が公開されている。

なお、37号文書は、古書店に持ち込まれた前か後か判然としないが、他の寄贈文書に紛れ込んでいたもので、福王寺（広島市安佐北区可部町）付近の略図であろう。

- （参考資料）
- ・「山野村役場文書仮目録」（広島県立文書館、2015年）
 - ・「旧福山藩士由緒書」福山市（阿部家旧蔵）
 - ・『幕末御触書集成』第5巻（岩波書店、1994年）
 - ・『沼隈町誌』写真・資料編（沼隈町教育委員会、2004年）
 - ・「江木文庫」（東京大学史料編纂所蔵、広島県立文書館複製資料）
 - ・『誠之館記念館所蔵品図録』（福山誠之館同窓会、1993年）

2023年（令和5年）7月
2025年（令和7年）5月追加
文責:片岡智

目録

番号	文書表題	点数	作成年月	文書形態	作成者→宛所
1	寅年田方御検見下改書上帳	1	文化3年8月	横長	能島村庄屋■（六力）右衛門ほか1名
2	当村新発畑下改畝数書上帳	1	文化9年4月4日	横長	能島村
3	去亥損地余荷仕出帳	1	文久4年2月	横長	西中条村
4	卯村入用米銀書上帳	1	慶応4年3月	横長	栗根村庄屋藤井平太ほか33名
5	貯穀取吟員数書上帳	1	明治3年3月	横長	芦原村庄屋安原勝之介
6	役場工関係ノ諸事附込	1	明治14年1月	横長	（西中条村力）佐藤
7	深安郡山野村・広瀬村肥草苅取人名取調帳	1	明治45年	横長	佐藤
8	〔御用捨米撮割人別帳〕	1	嘉永2年	横長	（能島村）
9	合毛付（損毛下改帳）	1		横長	（能島村）
10	〔一毛荒・抜綿等損毛下改帳〕	1		横長	（能島村）
11	御郡方見取場下改	1	嘉永7年閏7月～9月18日	横長	能島村庄屋平四郎ほか1名

番号	文 書 表 題	点数	作成年月	文書形態	作成者→宛所
12	〔畝高改帳〕	1	寅年8月25日	横長	(能島村)
13	田方御検見下改	1	寅年	横長	(能島村)
14	阿部伊勢守殿より御城附へ被相渡候書付写 (俵物密売禁制再触れ出し)	1	3月(嘉永5年)	切継紙	
15	田畑小作定米取立簿	1	明治36年～昭和2年	罫紙竖冊	坪生村内山
16	当町中年番取計方日記定帳	1	寛政3年1月～明治4年9月	竖冊	田島村庄屋津■■■(太治力)
17	〔沼隈郡内常石村明細図〕	1	元禄15年閏8月	畳紙	
18	神社ニ関スル諸願伺諸届諸証明控簿	1	明治43年9月12日～昭和6年8月1日	竖冊	社掌(貫井常司)
19	沼隈郡村社良神社記由緒(沼隈郡志編纂資料)	1	大正10年9月30日	調査票	貫井常司
20	沼隈郡神社部会ニ関スル書類綴	1	明治36年9月26日～昭和19年9月	竖冊	(貫井常司)
21	〔家督相続につき大目付勤め方心得のこと 申し渡し〕	1	2月25日(寛延2年力)	折紙	伊予(阿部正右)→大平弥一兵衛ほか3名
22	〔鞆津他国商事取り計らい方出精のこと申 し付け〕	1	5月9日(寛政5年頃)	切継紙	伊勢(阿部正倫)→吉村宇右衛門
23	忠孝図	1	寛政6年8月18日	巻物(刷物)	太田八郎(全斎)
24	御用留役用日記	1	万延2年1月6日～文久元年12月23日	横長	山野村組頭新太郎
25	御用留役用日記	1	慶応4年	横長	山野村組頭池田新太郎
26	御用留役用日記	1	明治3年	横長	山野村組頭池田新太郎
27	御用留役用日記	1	明治4年	横長	山野村組頭池田新太郎
28	御用留役用日記	1	明治5年1月5日～明治8年6月1日	横長	山野村・矢川村副役池田新太郎
29	〔西中条村神社境内樹木風損下渡し願書〕	1	明治11年5月25日～6月27日	綴	第四事務所詰副戸長藤井平太→第十六・十九大区区長倉田準五郎、など
30	寄留御届(人民願届)	2	明治10年11月1日	竖紙(元竖冊)	西中条村平賀豊ほか1名→戸長藤井平太ほか1名

番号	文 書 表 題	点数	作成年月	文書形態	作成者→宛所
31	〔人民願届（住民移転関係）〕	17	明治11年3月～9月17日	竪紙・罫紙 （元竪冊）	西中条村檜崎吉助ほか2名、など
32	〔西中条村全図作成雛型（彩色図）〕	2		竪紙	（西中条村）
33	寺院明細帳（東中条村圓通寺）	4	明治12年10月	竪紙（元竪冊）	真言宗圓通寺住職阿刀賢海ほか2名→広島県令藤井勉三
34	〔沼隈郡赤坂村内神社境内地調査票〕	1		罫紙綴	（貫井常司）
35	〔沼隈郡赤坂村良神社調査票〕	1		調査票	
36	下戻し申請地近傍見取図（彩色図）	1		竪紙	
37	福王寺山見取図（彩色図）	1		竪紙	
38	阿部伊勢守様御口達御書付写・御触書御請印帳写（海防関係廻状）	1	嘉永2年12月、嘉永3年1月28日	竪冊	御領御取締役（武州）下押垂村柴生田儀平次
39	乍恐以書付奉願上候（私欲にて村方立会役新規設置のこと老中へ駕籠訴）	1	天保15年 5 月	竪継紙	松平丹後守御預所信州筑摩郡麻績村小前百姓89人惣代兼訴訟人3名→阿部伊勢守
40	海防叢書（江川・内池・佐久間・綾部・福山・近藤・間瀬） ※「阿部伊勢守殿御口達之留」収載	1	（嘉永2年8月以降）	和本(写本)	（麻阜明霞館蔵）
41	西中条村安原氏累代記	1	不詳（昭和36年8月15日複写）	奉書	安原親熙（佐藤一郎複製）
42	諸藩朝集順次	1	明治3年9月	袋綴じ竪冊	太政官
43	兵要録（誠之館蔵本）壱～肆（「伍」欠本）	4	安政元年	和本(版本)	長沼宗敬著、校訂江木鰐水ほか3名
44	〔藩知事任命状〕（反故）	1	明治2年6月	奉書	太政官
45	誠之館之記	1	文久元年3月	奉書	福山藩儒官江木鰐水
46	①〔江木鰐水事績建碑につき起草案文〕	1		竪冊	浜野（章吉力） ※批評（坂田）丈平・（田辺力）新七郎
	②鰐翁建碑費寄付人名并金員	1		切継紙	

番号	文 書 表 題	点数	作成年月	文書形態	作成者→宛所
	③〔寄付金員人名覚〕	1		縦紙	
	④〔問い合わせの件につき篠崎小竹一番のこと回答〕	1	明治24年6月24日	葉書	江木保男→佐沢先生（カ）太郎
	⑤〔建碑案文につき添削箇所回答書〕	1		切紙	
47	広島県沼隈郡熊野村（村是及び教育概要綴込）	1	昭和2年12月26日	綴	熊野村役場→神崎郡田原農業公民学校長
48	福山学生会雑誌第二十六号	1	明治35年10月15日	小冊子	福山学生会事務所
49	覚・嘉永二酉年五月伊勢殿御直ニ三奉行一統江御渡（異国船対応のこと）	1	嘉永2年5月	縦冊	